

**三井不動産株式会社向け「サステナビリティ・リンク・ローン」への融資について
～脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガス排出量削減の取組みを後押し～**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、三井不動産株式会社（以下「三井不動産」）を借入人とする「サステナビリティ・リンク・ローン」に融資を行ないましたので、お知らせします。

サステナビリティ・リンク・ローンは、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス目標（以下「SPTs」）の達成状況によって金利などの条件が変動する仕組みとなっており、借入企業の取組み・行動変容を後押しすることで、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進・支援することをめざすものです。

三井不動産は、2050年度までの三井不動産グループ全体の温室効果ガス排出量ネットゼロをめざすとともに、中間目標として2030年度までに温室効果ガス（注1）の排出量46.2%削減（2019年度対比）を掲げています。

本融資は、中間目標の排出量削減目標をSPTsに設定している三井不動産が2022年1月11日に策定したサステナビリティ・リンク・ローンフレームワークに基づいており、当該フレームワークは株式会社格付投資情報センターよりローン・マーケット・アソシエーション等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が策定した「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合している旨の第三者意見（注2）を取得しています。

当社は、事業者および機関投資家として、2050年度のカーボンニュートラル実現をめざすことを公表（注3）しています。本ローンをはじめとした、サステナブル・ファイナンスなどを通じ、機関投資家として低炭素社会への移行に向けた資金供給をよりいっそう積極化することによりCO₂排出量の削減に貢献していきます。

【案件の概要】

借入人	三井不動産株式会社
契約締結日	2022年3月31日
期間	13年
サステナビリティ・パフォーマンス目標	三井不動産グループ全体の温室効果ガス排出量（Scope 1+Scope 2）を2030年度までに46.2%削減（2019年度比）
対応するSDGs目標	

（注1） Scope 1は事業者自らにより直接排出された温室効果ガス、Scope 2は他社から供給されて電気、熱・蒸気の使用に伴い間接排出された温室効果ガス

（注2） 株式会社格付投資情報センター（R&I）による評価レポート

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2022/01/news_release_suf_20220114_jpn_01.pdf

（注3） 2021年7月5日付ニュースリリース「CO₂排出量をネットゼロとする目標の設定および脱炭素社会の実現に貢献する取組みについて」

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2021/pdf/20210705_05.pdf

以上